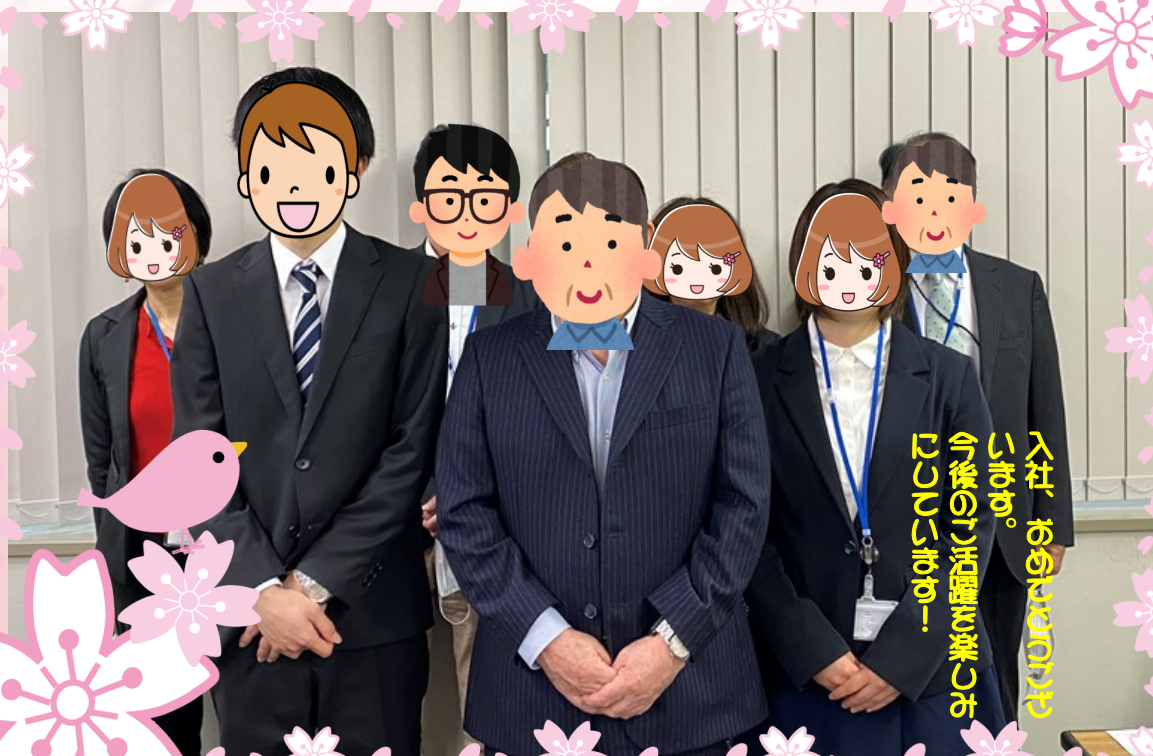


春号

パシオン通信 春号

今年は新人1名、中途（株式会社ウイングからの移籍）1名の2名が入社し、ささやかに入社식을執り行いました。自己紹介は次ページです。Nさんは4グループに配属され、Hさんは6月末までNDSにて新入社員研修を受講し、7月1日付けにて部門配属になります。どうぞよろしくお願いいたします。

入社



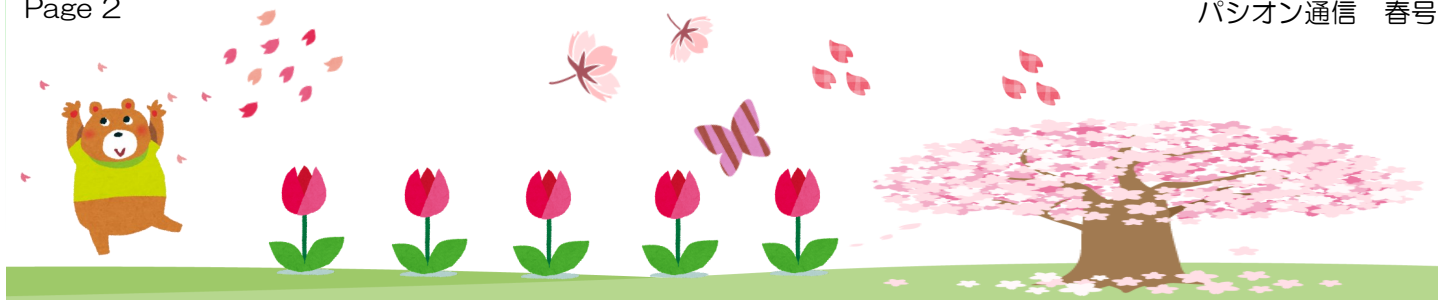
健保組合名称変更の件

4/1より、神奈川県情報サービス産業健康保険組合は、「首都圏デジタル産業健康保険組合」へ名称変更になりました。新しい健康保険者証は、4月下旬から5月中旬頃発送予定ですが、現在使用している健康保険証は返却して頂く必要があります。また、今まで紙媒体であった「医療費のお知らせ」や「けんぽだより」は、加入者専用（被保険者・被扶養配偶者）ウェブサイトよりWEB閲覧になります。健康診断もご自身で申し込み可能になります。これらにつきまして、詳細がわかり次第あらためて連絡いたします。

※首都圏デジタル産業ホームページ
【<https://www.sdi-kenpo.or.jp/>】

目次

目次	
入社おめでとう	1
4月入社社員自己紹介	2～3
最近の趣味は自宅でTRPG	3
ラーメンから天啓を受けちゃった話	4



自己紹介 システム開発部

N・Y

4月1日に入社したN・Yです。
日本大学国際関係学部卒業後、約4年間公共料金の改善や調整作業をしてきました。

大学では、アニメの影響でヨーロッパに興味を持っていたため、主にヨーロッパの文学について学びました。特に興味を持った作品が「ロミオとジュリエット」で、1回目に見たときはまさに悲劇だと思いました。しかし、三大悲劇に「ロミオとジュリエット」は含まないと知り、不思議に思ったため卒業論文はこの作品をテーマに作成しました。

部活では演劇部に所属しており、主に裏方の音響や広報の作業をしていました。

音響は演出とどこにどのようなBGMや効果音を入れるか話し合い、フリー素材からイメージに合う音を探しました。特に好きだった作業は音の編集でした。フリーの素材でない車の事故の音を、車のスリップする音と物がぶつかる音等を組み合わせることにより作ります。

組み合わせる際に0.1秒の差で大きく印象が変わります。音を聞き、修正を何度も繰り返し調整することは難しかったですが、自分の納得がいくものができた時は達成感がありました。

広報ではA4サイズのポスターと模造紙1枚分の看板を作っていました。最初は自分の思った通りのポスターや看板が完成したことで満足していました。しかし、大学2年生の時に友人が通う芸術大学の演劇を見に行った際に設置してあった看板の影響を受け、自己満足のためだけに看板をつくるべきではないと思いました。

そこから実際に公演しているプロのポスターや、SNSから他の大学のポスターや看板を見てどのようにすれ

ば印象に残るポスターや看板を作ることができるのか研究しました。研究の結果、配色が重要と考えたので、ポスターは手書きから手軽に色を変更できるWordで作成するようになりました。また、今まで看板は模造紙1枚分しか描いていませんでしたが、友人の大学の看板のようにインパクトのある看板を作成したいと思ったので、部室に埋まっていた木の板を2枚使用し、過去で一番大きな看板を作成しました。デザインも実際に劇に関係あるものを描いていました。今回は劇をイメージしたデザインに挑戦してみました。その結果、今までお客様からの「何がきっかけでこの劇を観ようとおもったか」というアンケートではポスターや看板を見て来た人は0人でしたが、5人に増えていました。また、看板についての感想もいただけてとても嬉しかったです。

趣味は写真を撮ることです。携帯のフォルダにはディズニーや食べ物の写真で埋め尽くされています。ディズニーでは風景やキャラクター、料理の写真をよく撮ります。風景を撮る時は、なるべく他の人が写らないよう注意しています。シンデレラ城等の建物は川を挟んだ橋の上から撮ると人が写らないので、そのように上手く撮れる新しいスポットを探すことが楽しいです。

また、ディズニーではイベント毎に変わるカクテルがあります。お洒落で味も美味しいのでよく料理の写真と共に撮っています。冬の海の前で飲むホットカクテルが一番好きですが、写真を撮るときに携帯のデフォルト設定のまま、角度調整により距離感で光の具合を調整するため、夜に写真を撮ろうとすると綺麗な写真は撮ることができません。今後は上手く設定を調整し、夜でも綺麗な写真を撮るように挑戦しようと思います。

仕事面でも挑戦する心を忘れず、一日でも早く成果を出せるように頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

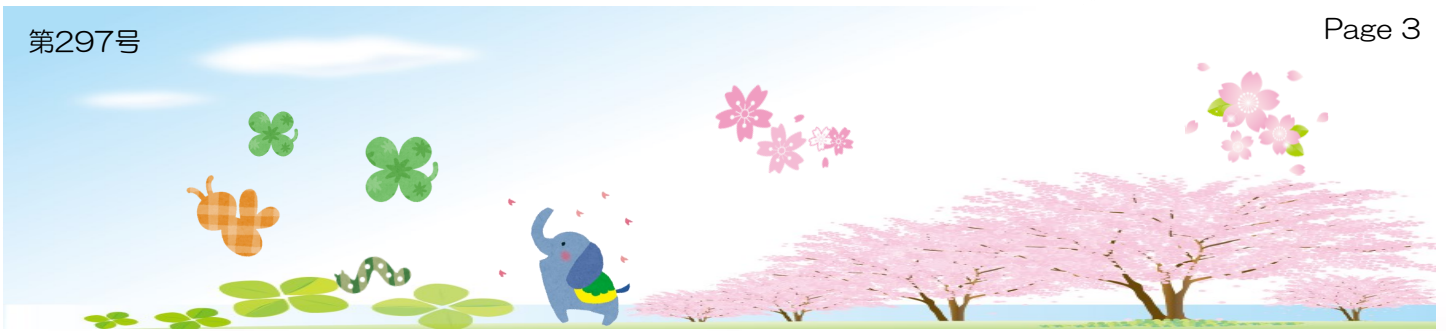


「パシオン通信」の発行を毎月から四季の発行に変更します。

諸事情により役員会にて検討した結果、上記の通り決定を致しました。毎月楽しみにしてくれていた方には大変申し訳ございません。基本年4回となりますが、もちろん四季以外にも必要があれば発行します。パシオン発足当初から毎月欠かさず発行してきました「パシオン通信」297号は四季発行の初号となります。今までもこれからも皆さまのご協力あつてのパシオン通信です。皆さまには引き続き記事掲載へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

また、昨年度のパシオン通信大賞につきましては、発信ができておりませんでしたので改めて通知し、夏号にて発表できればと思っています。併せまして、どうぞよろしくお願いいたします。

総務部 Y・K



自己紹介 システム開発部

H・H

私は、湘南工科大学工学部情報工学科を卒業し、4月1日よりパシオンに入社しましたH・Hと申します。

よく苗字の読み方を「S」を間違えられますが、「H」と読みます。

大学の友人からは、いつもニコニコしていてかなり話しやすいとみんなに言ってもらえるので、仲良くしていただけると幸いです。趣味はアクション物の映画を見たりすることやプラモデルを作ったりすること、そしてゲームをすることです。

熱中していることは友人と通話をしながらオンラインゲームをしたり、現在はコロナウイルスが流行っているの毎日では行えていませんが、休日の夕方でも人気があまりない時間に走りに行ったりしています。コロナ前まではよくキャッチボールをしに出掛けていたのですが、それもあまりできなくなり寂しいですね。

私の抱負です。

皆様のご期待に応えられるよう、また1日も早く仕事に慣れるよう精一杯精進していきたいです。

分からないことだらけで仕事のことなどお聞きすることが多いと思いますが、その際はよろしくお願いします。

最近の趣味は自宅でTRPG

システム開発部 T・K

最近自宅ではTRPGをやる事が多いです。

TRPGとはテーブルトークロールプレイングゲームの略で、ルールブックと紙とペンとサイコロを使って遊ぶゲーム。



進行役とプレイヤーに分かれて1つの物語を作り上げる、そんな感じです。

役割は主に進行役（ゲームマスター、略してGMと言います）。

TRPGと言っても色々なシステムがありまして、私は主に

「クトゥルフ神話TRPG」という物で遊んでいます。ゲームイメージは・・・。

GM(私)「あなたは見知らぬ部屋で目を覚まします。」



PL(プレイヤー)「わかりました、部屋には何がありますか？」

GM「部屋の中にはテーブルと本棚、そして階段がありますね。」

PL「本棚を調べたいです。」

GM「であれば、＜目星＞技能で調査になります。ダイスを振ってください、成功すれば情報が得られます。」

と、言った感じです。

仲間とお菓子をつまみながら、ワイワイ相談・雑談して1つの物語を作り上げていく過程は、コンピュータゲームでは味わえない楽しみかな、と思います。

TRPG自体は4年ほど前からやっているのですが、コロナ禍の影響で人と会うのを避ける必要が出てきたため、最近ではもっぱらオンラインでチャットツールを使ってやっております。

オンラインの良いところは場所の準備が要らない、メンバーを集めやすい、と言った点でしょうか。勿論、人間同士顔を合わせて遊ぶ時の楽しさもあるにはあるのですが、それが気兼ねなく出来るのはまだまだ先になりそうです。



ラーメンから天啓を受けちゃった話

システム開発部 T・T

※注：空腹時に読まないことをお勧めします。
どんな影響を受けても苦情は受け付けません。

ラーメンの中では味噌ラーメンが一番好きだと思っている。行列に並ぶ気も有名店を制覇する気もサラッサラ無いが、何ラーメンが好きかと聞かれたら味噌だと答える。それは少し前の私だ。

ある休日のお昼時、お散歩途中で見つけた「味噌ラーメン」の看板につられて入店。そう、ここでの出会いこそが自己認識がひっくり返ったきっかけである。

何が起きたのか、そりゃお気に入りの味噌ラーメン（以下、このラーメンは“お散歩味噌”と記述）を見つけただけのこと。別に特別情熱傾けてお気に入りを探していたわけではないけれど、ここまで好み直撃の味噌ラーメンに出会ったことはなかった。というより、今まで味噌ラーメン食べてこんなに反応したことはない。今まで味噌が一番って言ってたのに、こんなに違う？ あれ？そんなに敏感舌でもないし？脳内であれこれ言いながらもラーメンは美味しくいただいた。疑問はあっても美味しいものは美味しいのだ。

そもそもなんで味噌が一番と思っていたのか、だいぶ遡ろう。

子供の頃から家族で行くラーメン屋さんほど〇ん子ラーメン一択で、お子様は黙って味噌バターラーメンというのが我が家における暗黙のルールであった。ほぼ強制注文とはいえそれ自体は美味しく食べていたし、不満はなかった。そしてシンプルに「ラーメンすなわち味噌」、「ラーメン美味しい。好き。」という謎基準が自分の中で確立された。更に、家で食べるインスタントラーメンはサッポ〇一番の味噌味のみ。味噌ラーメンのエリートを育てていたかのような、親の一貫ぶりに今更驚きだが、まあ多分親の嗜好の問題だろう。

やがて小学校高学年あたりからフワッと自我が育ってきたようで、要はナマイキになってきて、行く店は変わらなくとも味噌ではないラーメンを要求するようになり

（塩や醤油ではなく、コーンスープラーメンとか不思議系に手を出すあたり流石だなこの頃の自分）、味噌一辺倒生活に終わりを告げたのである。ちなみにこの頃、インスタントラーメンを袋のまま麺を割って粉スープをまぶして食べるという荒業を仕入れてきた友達がおり、それで初めてサッポ〇一番の塩味を食べた。滑り台の上で。いや、せめて煮て食べな？いろいろ間違っている。

それでも「味噌が好き」基準は刷り込み教育の賜物なのか、塩や豚骨や町中華にちょびっと走った時期もあったが（いわゆる中華そばとかオシャレ淡麗系には

あまりそそられない）、味噌は本命の位置に在り続けた。文章にしたら「浮気したけど一途だから！」みたいでなんか非常に心外である。あくまでこれはラーメンの嗜好限定の話なので誤解や拡大解釈のないように。

さて、ならば味噌は味噌で好きの範疇なのだろうけど結局自分の好きなラーメンってそこだけが条件か？と。お散歩味噌と他の味噌との違いはなんだ？お風呂に入りながら考えた。いっそジャンル分けをなくしてピンポイントで好み上位のものを集めて共通する部分をまとめてみよう。お散歩味噌、タンメン、ちゃんぽん、、、待て待て。見えた。これ全部「野菜炒めてスープ作る系」！

天啓。閃いた。そう、どうやらそうなのである。子供時代の味噌ラーメンもお散歩味噌も「野菜炒めてからのスープ作る系」。タンメンはだいたい塩味、ちゃんぽんは塩？海鮮？わからんけど、つまり味噌とか塩とかのテイスト的なのが第一条件なのではなくて、野菜炒めてからの〜スタイル（？）が肝心だったらしい。

そこから逆に検証していくと、なるほど確かに。味噌は好きだけど、乗せる具は茹でたもやしとかほうれん草

（大概冷たい）なお店が多い。嫌いではないけど加点にはならない。そこが本人の気づかないところで好みから外れていたからだ。どんぶりまとめてコレ好き！また食べたい！とまで言い切れる味噌に出会わなかったのは、そもそも求める条件が違ってたから。かつ、その条件を満たすラーメンを出す店は意外と少ないから、そこそこ長く生きてる割に初めて明らかになった自分の嗜好に驚愕である。

三つ子の魂100までってやつで、ど〇ん子最強説…？が否定できないとしても、間違いなく味噌一番という括りが間違っていたことははっきりした。

ラーメンに限った話ではないけれど、自分はこうだと思いついていたことは実はそうでもなかったり、時間の経過とともに変わってしまっていたり（大人になって嗜好も変わるし）往々にしてあるものだとは思っていたけれど、自分の嗜好がこれほど見事にずれていた事実、いっそ気分爽快ですらある。たまには棚卸してみると面白い結果が出るかもしれない。現在の私がラーメンに求める条件が新たになったところで、まずは今後のラーメンライフ（それでもそんなに熱くはない）が充実すること間違いなしである。

補足：ど〇ん子ラーメンというのはチェーン店ですが、店によってかなり違いがあるようです。札幌ラーメンと言っていますが道民の方々、どうかおおらかにスルーしてください。

本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。

本趣旨にもとるご利用、お取り扱いはお容赦いただきますようお願い致します。